

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	千葉剛成
	全体計画			経費区分	-	内線	3630
事務事業名	4316 臥竜山公会堂管理事業						
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課						
施 策	14011800 生涯学習の機会充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100607 教育費・社会教育費・臥竜山公会堂費					
	事業	010000 臥竜山公会堂管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理に努めていく。				自然豊かな臥竜公園に位置することから、市民の憩いの場、交流の場として施設充実を図っていく。			

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の適切な維持管理を実施した。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。

指標名	臥竜山公会堂の延べ利用者数						
算式						単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	500	500	3,000	3,500	3,500	
	実績						
指標選定の理由	平成29年度3,062人、平成30年度4,086人、2019年度2,923人、2020年度203人を参考とした。						
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		1,390	1,599
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	20	250
一般財源	1,370	1,349	
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	629.8	629.8
	臨時職員	335.6	335.6
	計	965.4	965.4
市民一人当たりの経費	0.0	0.0	
総額	2,355.4	2,564.4	

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	841	消耗品費75、燃料費53、光熱水費679外
12節 委託費	115	支障木伐採委託料85、シルバー人材センター管理業務委託30
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	434	臨時職員賃金381 等

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	889	燃料費58、光熱水費712、修繕費42外
12節 委託費	120	支障木伐採委託料85、シルバー人材センター管理業務委託35
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	590	会計年度任用職員報酬440 他

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	市民の憩いの場である臥竜公園内に立地し、大きなイベントに対応する大空間を備える。近年利用者数が伸び悩んでいるなかで、民間による活用も視野に入れたい。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	あまり有効ではない
評価コメント	和室のニーズ減少に加え、コロナ禍における制約により利用者が大きく減少している。施設の有効活用に課題が残る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	受益者負担の観点から、施設利用料に加え冷暖房使用料についても徴収している。今後、臥竜公園官民連携リノベーション事業などといった民間活力の導入検討も視野に入れていきたい。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

2020年度はコロナ感染症の拡大により大きく利用者が落ち込んだ。今後、コロナ禍を克服した後を見据え、市民への利用促進に向けたアプローチの有り方を考えたい。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
利用者数（稼働率）の減少が課題である。臥竜公園官民連携リノベーション事業の範囲に含まれており、今後の推移を見守りながら、維持管理に努める。		公民館としての位置付けやあり方を臥竜公園全体の位置付けから再検討する必要がある	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	